

N-233

良悪判定事例に基づいた田園景観の評価と保護対策のまとめ

○大成建設(株)技術研究所 正会員 青島正和

1. はじめに

田園地帯は圃場整備等に代表されるように土木工事の主要な対象の一つである。そして近年の景観への関心の高まりから景観対策を抜きにした工事は考えられない。しかしながら工事担当者はむろんのこと自治体の担当者の中でも田園景観の何が良くどのように保護すれば良いかは明確にはなっていないのが現状である。ここでは初心者を中心として、景観の専門家が作成した「田園景観のデザインガイド」から、田園景観の何がよくて何が悪い、景観を良くするにはどのような手段があるのかについてのまとめを行った。

2. 田園景観のデザインガイド概要

田園景観のデザインガイドは景観デザイン研究会(篠原修会長:東京大学教授)の田園景観部会(北村真一部会長:山梨大学助教授)が作成した注釈付き田園写真集(非売品)である。注釈は一部善し悪しの評価を含んだもので、景観の概要に関して述べている。作成は景観の専門家13名と協力者10名の計23名が行い、4つの大項目(農地、施設、生活、全体眺望)について103頁517枚の写真を収めてある。

3. 景観評価言語

初心者が景観を評価する時には、専門家が用いている評価言語を参照するのが最も簡単な方法であろう。ここではデザインガイドに使用されている良い景観と悪い景観の評価言語をまとめて見た。またそれに伴い派生する構図および景観要素についてもまとめた。結果を表1に示す。表1にはデザインガイドの生のデータとそれから得られる総括言語を示し、最終的に人間との関わりについての言語的総括を行った。これより

表-1 事例集に使われている景観評価の言語

	評価表現	構図の評価	景観要素	人間との係わり		評価表現	構図の評価	景観要素	人間との係わり
良 い 評 価	個 別 言 語	ヒューマン スケール 心地良い 味わい深い 調和 ぬくもり 統一感 アクセント 異国情緒(?) 開放感 明るい リズム感あり 親しみ易い バランス良い 不規則 季節感	スカイライン保護 山並み モザイク的分析 機能美(?) 近景中景遠景が整う 地形となじんだ曲線 点景 等間隔 テクスチャーが良い 低明度低彩度 エッジはかし 輪郭はかし ランドマーク・ アイストップ 遠近感ある(緑、空気) 豊かな生態系	不規則な 田園区画 棚田 石造り 稲架木 屋敷林 防風林 木製棚 四季 動植物 池	良 い 評 価	個 別 言 語	人工的 あせた色 はげている 安っぽい 唐突 威圧感 目だつ 管理不十分 単調	直線的 大面積 (建物) 高明度 景観の分断 浮き上がり 看板 トタン ビニールハウス ガードレール コンクリート縁石 案内版 自販機 電線・鉄塔・電柱 山岳頂上の傷 ごみ置場	良 い 評 価
	総 括 言 語	ヒューマン スケール リラックス 整然 アクセント	自然的 点景(シンボル) 整然 ばかし	自然材料 生命		総 括 言 語	人工的 (機械規模) 緊張 雑然	人工的 分断 圧倒 人工材料 無機的	

表-2 景観上してはならない行為

良い景観とは人間が馴染むもので人間の気持ちをよくするものと言える。逆に悪い景観は人間が馴染めず気分悪くさせるものと言える。

4. 景観上の禁止行為

ここでは往々にして行いがちであるが、景観上すべきでない行為についてまとめた。結果を表2に示す。内容は材料の選定、設計方法、管理方法

- ① 塗装のはげた白い構はみすばらしい
- ② 白い鉄パイプの構は安っぽい
- ③ 壁面のグラフィック(絵)は地域性の表現を旨としたものが多いが、稚拙で煩雑になりがちなので十分気をつける
- ④ コンクリートののっぺりとした表面の高い擁壁は避ける
- ⑤ 白いガードレールは目立ちすぎる
- ⑥ 彫刻・碑・塔等はアクセントとなるが唐突になり易い・植栽等を使い周囲になじませる
- ⑦ 山頂等の景観上大切な部分の開削はしない
- ⑧ 大型の直線水路は避ける
- ⑨ 草や樹林の手入れをしないと雑然とした居心地の悪いものになる
- ⑩ 地域の特産等を橋の欄干や照明灯などに使用すると浅慮になりがち

に関するものである。特に地域性をだそうとして地域の特産等を欄干などに彫刻・塗り絵しがちであるがあまり成功していない。

5. 形状に関する景観対策手段

景観に大きな影響を及ぼす因子としてエッジ・ライン・大面積構造（壁面）・色彩等を取りあげ、それらからの景観保護の為の対策例を示す（表3参照）。対策例を手法面からまとめると次の様になる。

エッジ・ライン ---- 曲線化、はかす、地中化、覆う、隠す等

大面積 ----- 囲う、分割、テクスチャーつける、低層化、傾斜化等

表-3 景観保護の対策

エッジ・ライン	壁面や建物等
① 道路等曲線にする ② 森林と牧草地の境界は、異なる樹種の混交でラインをはかす ③ アスファルト舗装のエッジは草ではかす ④ 白いガードレールは低明度、低彩度にするか、ガードケープに変える ⑤ 電線・電柱は雑然化要素で目につきやすいので ・地中化する ・道路上に設置しないで難す ・下部を樹木でかくす ・低明度、低彩度にする ⑥ 水路はコンクリート露出面を少なく、護岸の高さ抑え、上部草で覆う。手入必要 ⑦ 高速道路は法面緑化。遮音壁は周囲から浮き上がり易いので避ける ⑧ 外構は生垣や竹垣、自然材（玉石など）が望ましい。ただし手入十分に ・コンクリートブロックの場合ツタや植栽によりエッジの固さを和らげる	① 牧場の建物（近景）は樹木で囲う ② 鉄塔は樹木で足元かくす ③ 大規模建物は大きな量感を小さく分割 ・形態分割は塗装や仕上げ材を変化させる ・適度な開口部を設ける ④ 高い壁面は ・勾配を緩く ・高さを抑える ・表面に自然石や石垣でテクスチャーをつける ⑤ 交差点は ・交通島を設ける ・樹林や地形で囲まれた場所に設ける ⑥ 沿道店舗は目立ちやすいのでは中高木を数本植栽する ⑦ 橋の色彩は低明度・低彩度とし濃茶系 ・良く赤はダメ ⑧ 大駐車場は目立つので周囲に樹木植栽 ⑨ 白い工場は周囲から浮き上がって見えるので ・品の良いデザインとシトタンやベニヤは避ける ・低明度・低彩度の材料を使用 ・小規模化、低層化、傾斜屋根とする ・植栽を施す ・道路境界からセットバックさせる ⑩ 石の固さは草で安らげる ⑪ 護岸は色彩調和に気をつける ⑫ 牧場の建物まわりは開放的で明るいイメージにする ⑬ 農家や屋敷林の緑は人の居場所らしいぬくもりのある景観を作る ⑭ 動物や人は生活感や生命感を出す

色 彩 ----- 低明度、低彩度等

6. 形容語に関する景観対策方法

景観を誘導するときにしようする手法を形容語別にまとめた（表4参照）。対象とした形容語はアクセント、ランドマーク、アイストッパ、モザイク、テクスチャー、コントラスト、遠近感付与である。例えばランドマークとなるものを設置したい時は屋敷林や教会、社寺、鳥居などを採用すれば良い。

7. 対策手段のまとめ

景観保護を行う為の手段としては以下のようなまとめができる。

使用材料 ---- 草で隠す・ボカす、樹木で隠す・ボカす、石材使用、木材使用

使用形状 ---- 曲線、分割小割、凹凸つける、勾配の同一化、低層化

使用色彩 ---- 低明度、低彩度、色彩調和化

使用点景 ---- 人、動物、機械

なお、ここでは一般化してまとめたが、これらの事実と矛盾する以下の例もある（表5参照）。

8. おわりに

おわりに共同で作成したデザインガイドを用いて作成した本論文の発表を認めて下さった田園景観部会の諸氏にお礼を述べる。なお本論文は青島が独自に作成したもので、内容について他の部会員は責任を負わないことを付け加えておく。

表-4 景観形容語の対策方法

アクセント	テクスチャー
広大畑地の中の農業施設（中景）、農作業車（赤色） 広大草地の家畜、樹林、建物（遠景）、牧草ロール（点在） 牧場の柵 田園の樹林、中景の温室ビニールハウス 道祖神等とはこら 草地、墳墓 常夜灯	切石の擁壁 作物の分布 点在する屋敷林 水田の区画
ランドマーク・アイストッパ	遠近感
樹林帯、屋敷林、大きな単独樹、防風林（鉛直要素）、雑木林（中景） 遠景の山、中景の山 遠景の教会、遠景の斜長橋 昔からの茅葺きの農家、社寺と森、鐘楼、鎮守の森、鳥居	農道沿いの稲架木並木 キャベツ畑の作物の大きさと並び方 タバコ畑の葉の大きさと並び方 畑地一樹林一山の景観の並び 同じ大きさのビニールハウスの群れ
モザイク	コントラスト
田畑の作柄の違い 刈入れ前後が入り交った水田の模様	レンゲ畑のピンクと周囲の緑 畑の土色と雑木林の緑

表-5 特別事例

- ① 緑の森林や草原の中の赤い家は良いとする考えがある
- ② 緑の稲の中の赤い機械も点景として良いとする考えがある
- ③ 機械的に圃場整備されたメッシュ状の田圃は遠近感があり良いとする考えがある